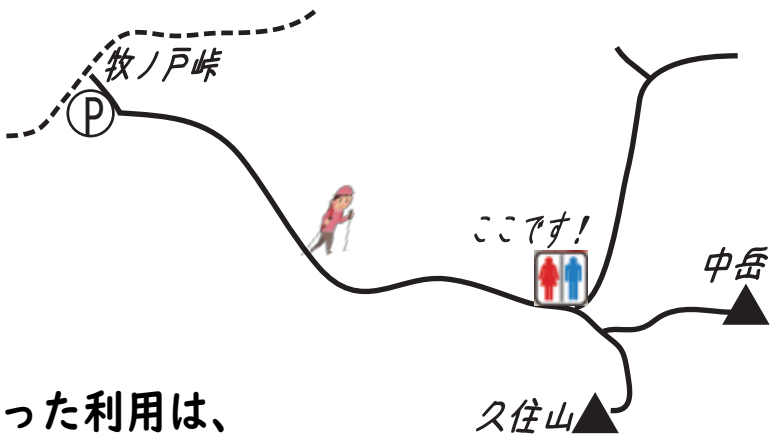
くじゅうのトイレがピンチです！

牧ノ戸峠から久住山へ向かう途中、「久住分かれ」にあるトイレは、バイオトイレとして微生物による浄化処理が行われていますが、処理能力には限界があります。近年、連休中やミヤマキリシマの時期に、許容範囲を超えた利用があり、問題になっています。山岳トイレとしての特性をご理解のうえ、できるだけ登山口のトイレをご利用下さい。



- 久住分かれのトイレは緊急避難用です。「念のため」「とりあえず」といった利用は、オーバーユースの原因になりますので、ご遠慮ください。
- 維持管理に多大な労力が必要なため、協力金制（100円）としています。
- 定期的に清掃を行っていますが、利用者が多い時には清掃が追いつきません。
- 水源は雨水と再生水です。水が流れないときには棒で押し込んでください。
- 備え付けのトイレットペーパー以外は使用しないでください。
- ごみは捨てないでください（生理用品を含む）。

大分県・竹田市・くじゅう地区管理運営協議会